

(1) 講座・研修事業

事業名	ユースリーダーセミナー（ジェンダー平等ミーティング）							
事業形態	（主催）滋賀県立男女共同参画センター		（共催）－					
目的	身近なジェンダーの問題について、参加者が互いの考えや経験を伝え合うことにより、より多くの知識を得るとともに、同世代がジェンダー平等についてどのように考えているのかを知ることで自分自身の考えを深めるとともに、ジェンダーについて考える者同士の新しいつながりを作るきっかけの場づくりとし、課題解決のためのより良い方策を導き出すことを目的にミーティングを開催する。 ジェンダーを語り合うことを通して暮らしやすい社会づくりを目指すとともに、ミーティングで出された意見や考えを発信することで、幅広い世代に向けてジェンダー平等についての啓発を行う。							
対象者	学生を中心とした若者							
日時	5/25(水)13:30～「今年度のテーマについて」 6/29(水)13:30～「無意識の偏見」 7/20(水)13:30～「性の多様性」(中止) 8/17(水)13:30～「パートナーシップ制度の周知について」 9/14(水)13:30～「学校とジェンダー」 10/12(水)13:30～「化粧とジェンダー」 11/9(水)13:30～「就職活動と自分らしさ」 12/14(水)19:00～「仕事とジェンダー」 ※ZOOM開催 1/25(水)13:30～「海外と日本のジェンダーについて」 ※ZOOM開催 2/15(水)13:30～「ジェンダーとアニメ」(第1回ユースリーダーセミナー併催) 3/15(水)13:30～「ジェンダーと戦争」							
内容								
場所	滋賀県立男女共同参画センター 大ホール、研修室等							
参加者数	女性	93人	男性	70人	その他	0人	計	163人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違った視点の意見も多く、すごく発見が多かったと感じました。 ・日本人の学生と交流することとても嬉しいです。自由な交流する雰囲気がとても素晴らしいと思います。 ・普段なかなか聞くことのできない企業の方のジェンダーについてのお話を聞くことができ、大変勉強になりました。話し合いでも様々な意見が出て、とても面白かったです。 ・固定概念が染みついている社会で変えていくこと、変わることは難しいと思いましたが、話し合うことでさまざまな意見を知ることができてとてもいい機会でした。 ・学生の身では思いつかないような視点から、実際に働いておられる社会人の方の貴重なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。 							



(1) 講座・研修事業



事業名	ユースリーダーセミナー(小学校)				
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -		
目的	若者が、ジェンダーについて知り、身近にあるジェンダー問題に気づくことによってジェンダー平等の視点を活かした実践を行うとともに、ジェンダー平等な社会づくりについての啓発を積極的に行うことのできる人材育成を目的に県内小学校で開催する。				
対象者	小学生				
日時	日時 令和4年 ①11月30日(水) ②12月9日(金) ③12月21日(水)				
内容	講師 滋賀県立男女共同参画センター職員				
場所	県内小学校(3校)				
参加者数	女性	422人	男性	412人	計 834人
参加者の感想	<p>・「ちがいを大切にすることについて、友だちとのちがいを感ぜられるワークも入れながら、わかりやすく教えてもらえたおかげで、「性別できめつけたりしない」「相手の考えを大事にする」「自分の考えも大事にする」など、これから大切にしたいことをたくさん考えることができました。(教員)</p> <p>・男の子だから、女の子だからとかはべつにかんけいなくすごせばいいと分かりました。わたしは、これから学年、女、男とはかんけいなく、いっぱいなかよくあそびたいです。(低学年)</p> <p>・みんな平等で男女かんけいがないんだと思った。イメージだけで人をきめつけてはいけない。自分で決めることが大切。自分とちがうことを認め合う。これからは、人をきめつけず、みんなちがってみんないいという言葉大切にしたい。(中学年)</p> <p>・わたしは、いつも女らしさを気にしていたけど、自分らしさを大事にすればいいことがわかりました。(中学年)</p> <p>・人の個性や人から、性格は性別などで決めないで、その人の自分らしさが大切だなと思いました。(高学年)</p> <p>・差別がない未来で自分の気持ちに自信をもてたらいいと思います。(高学年)</p> <p>・男女平等について話を聞いていて、思い当たることが少しありました。女子が黒や青が好きでもあまり言われないけれど、男子がピンクが好きだったら少し変に私は思うかもしれません。やっぱり人はイメージや周りを気にしてしまうのだなと思いました。自分自身のことを大切に、改めて「ちがう」ということを当たり前と思いたいです。(高学年)</p> <p>・たとえば野球は女子でもしていることは知っていたけど、イメージは男子でそのイメージを変えるのは難しい。けど、そこで終わるのではなくて、イメージと違うことも受け入れ認め合うことが大切なんだと教えてもらった。(高学年)</p> <p>・男女に関する先入観で自分のなりたい職業を選んだり、この職業には〇性と職業と性別を決めてしまっていることに気づき、子ども達は自分になりたい仕事、ありたい姿に向かって生活していけばいいことを深く学べた。(教員)</p>				



(1) 講座・研修事業

事業名	しがパパママスクール①							
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -					
目的	これからともに歩んでいこうとする共働きの夫婦等を対象とした、仕事と家庭の両立のための講座を開催する。							
対象者	これから男性育休とられる方・今とられている方、家事・育児中のパパママとその家族、家事・育児について学びたい方							
日時	日時 令和4年8月27日(土)							
内容	テーマ 「簡単キレイ!お掃除セミナー!!」							
	講師 花王グループカスタマーマーケティング(株)より5名 <p>パパ講座では、それぞれの場所に応じた効果的な洗剤の選び方などについてお話しいただいた。参加者は普段からよく掃除をされており、さらなるスキルアップにつながった。最後は、それぞれ「これからも家族で協力して家事・育児をしていこう」といった思いをもたれていた。</p> <p>ママ講座では、「上手なお掃除4則」や「家族が家事をしたくなるアイデア5」などについて教えていただいた。また、体と心を健康に保つための方法についてもお話しいただいた。家族が健やかに過ごすためには、掃除と体のケアどちらも大切であることがよく分かった。</p> <p>質疑応答では、多くの参加者の方が熱心に質問をされていた。参加者の方にとって、ワーク・ライフ・バランスやパートナーシップについて考えるよい機会となった。</p>							
場所	滋賀県立男女共同参画センター							
参加者数	女性	18人	男性	5人	その他	0人	計	23人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・家事を家族でやることの舵取りを上手くするのが必要だと学びました。 ・いろいろな便利グッズが出てきているので、上手に活用しながら家事に取り組んでいけたらと思いました。どうしても女性が主で家のことをやらないといけなような感じになってしまっているので、夫にも協力してもらい、業務分担を少しでも進めていければと思いました。 ・おふろ掃除は最後の人がやるのが良いとはわかっていながらも、結局次の日一番はじめに入る人が汚れをためた状態でやっているの、今日をきっかけに最後の人にやってもらいます。 ・家事を家族全員で分担し、楽しく実践できるように工夫することが大事だと思った。 ・「家庭の中で私が管理職」という意識をもつという話もおもしろかったです。 							



(1) 講座・研修事業

事業名	ユースリーダーセミナー（中・高等学校）				
事業形態	（主催）滋賀県立男女共同参画センター		（共催）－		
目的	就職や大学等進学をする前の中・高校生の時期から男女共同参画意識の浸透を図るとともに、対等な力関係でお互いが相手のことを考え思いやりの気持ちを持って相手に接することの大切さを学ぶとともに、主体的にジェンダー平等を発信することを目的に、当センターが専門家を高校へ派遣し出前授業を実施する。				
対象者	県内中学生・高校生				
日時	令和4年 ①7月15日(金) 10:50～12:40 ②11月15日(火) 13:35～15:05 ③12月20日(火) 13:30～15:30				
内容	テーマ 「より良いパートナーシップを築いていくために～デートDVについて知り、伝えていくことから～」 講師 上野敦子 さん 講師所属等 四天王寺大学 准教授 出前授業への応募のあった学校に対して専門家を派遣し、デートDVについて知るとともに、アクティブラーニングの手法を用いて実践的なデートDV防止のための学びを深めた。 デートDV防止プログラム CONTENTS ・デートDVとは何かを知ろう ・デートDVを見わける方法を知ろう ・被害者にも加害者にもならないための方法を知ろう ・被害者や加害者への対応を知ろう				
場所	県内中学校、高等学校等(3校)				
参加者数	女性	65人	男性	107人	その他 0人 計 172人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてデートDVという言葉を知り、その意味や種類、DVとの違いが分かった。 ・暴力の「見分け方」についても知れてよかったです。 ・最後の方で話していただいた「彼女が彼氏に暴力をふるっていることもある」ということを聞いて、自分が偏見を持っていたことに気づきました。デートDVを減らしていくためには、偏見をなくすことがまず大切だと思いました。 ・デートDVを防ぐために、した側ではなく、された側の気持ちを考えることが大切だと分かった。 ・暴力かどうかについて、暴力をした側の事情など関係なく、支配的な関係になった時点で暴力だと分かった。された側の気持ちを考え、被害を防ぐために行動していくことが大事だと思った。 				



事業名	第1回教職員さんかく講座				
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催)滋賀県教育委員会		
目的	子どもたちが性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、伸びやかに、多様な生き方ができるよう、また、根拠のない性別による役割分担意識を払拭し、真に男女共同参画社会を築けるよう、子どもたちを取り巻く諸問題についての理解を深め、学校の役割を再認識し、これからの教育活動に資することを目的とし開催する。				
対象者	教職員、関係機関職員、県民の方どなたでも				
日時	日時 令和4年 7月26日(火) 13:30~16:30				
内容	テーマ 「学校における『性の多様性(LGBTQ)』の課題について考える」				
	講師 山崎 あおい さん 講師所属等 Life hospitality management service 代表 『男女共同参画社会づくり副読本の活用について』長浜市立長浜北小学校教頭の成田健さんに学校での実践事例について紹介いただいた。 講演は、性の多様性についての基礎知識から始まり、ご自身の経験、またこれまでのご経験を踏まえ、教職員が知っておくべき性的違和感のある児童生徒への接し方や配慮、学校施設の改善等についてお話しいただいた。				
場所	滋賀県立男女共同参画センター 大ホール				
参加者数	女性	22人	男性	12人	その他 0人 計 34人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、児童に接するときに配慮すべきことや施設等で改善すべきことを具体的に教えていただいた。 ・身近で苦しんだり悩んだりしている人がいるという前提意識を持って、学校生活での言動や子どもたちへの指導にあたりたいと思う。 ・分かっているようで、分かり切れていない生徒の気持ちを考え直すことができ良い時間を過ごさせていただきました。 ・様々な思いや考え方をを持った人がいる世の中で、生き方を多様化していくことは今後更に求められていくし、私もより広い視野を持って生きていきたい。 ・当事者の方のお話を聞けることはあまりないので、よい機会になりました。学校生活において、トイレや着替え、宿泊行事など男女の区別をなくしにくい場面もあります。その中でもできる限りの配慮ができるように考えたいと思いました。自分らしく生きるために・・・を考えさせられた講座でした。 ・マイノリティの人も生きやすい社会は、誰もが生きやすい社会で、安心安全な社会なんだろうと思う。だから正しいことを知るということは大切だと思う。知らないことは時に人を傷つけることがある。市町や行政の人にも聞いてもらいたいですね。 				



(1) 講座・研修事業

事業名	第2回教職員さんかく講座				
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催)滋賀県教育委員会		
目的	子どもたちが性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、伸びやかに、多様な生き方ができるよう、また、根拠のない性別による役割分担意識を払拭し、真に男女共同参画社会を築けるよう、子どもたちを取り巻く諸問題についての理解を深め、学校の役割を再認識し、これからの教育活動に資することを目的とし開催する。				
対象者	教職員、関係機関職員、県民の方どなたでも				
日時	日時 令和4年 7月28日(火) 13:30~16:30				
内容	テーマ 「児童生徒の明るい未来を支える男女共同参画と性の多様性」				
	講師 滋賀県立男女共同参画センター職員 《第1講》 出前授業で教職員向けにお話している、テーマ「児童生徒の明るい未来を支える男女共同参画と性の多様性」を拡大して実施した。 《第2講》 「2学期からすぐにできる児童・生徒向け授業」 小学校向け「ちがいをみとめ合いのばしあう ~男女平等について考える~」(男女共同参画) 中学・高校向け「人とのこちよい関係をつくるために」(デートDV防止)				
場所	大津市生涯学習センター 大ホール				
参加者数	女性	29人	男性	17人	その他 0人 計 46人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学校が率先して一人ひとりの個人の事を認めていくことが必要だと考えるので参考になった。 ・その子どもとの関わり方や学級の動かし方がイメージできた。 ・生徒が思いを打ち明けやすい保健室において、性の多様性を尊重した環境づくりは比較的实践しやすいと思いました。 ・多様性を尊重する環境づくりにこれから努めていこうと思った。どの子も安心して過ごせるよう間接的アプローチの実践や当事者目線で考えることを大切にしていきたい。 ・本校の課題でもある対応方法、受け止め方法が参考になりました。多様性を尊重する風土を築く必要性を強く感じた。 ・誰もが安心して過ごすことのできる環境づくりを目指していこうと強く感じました。 ・一人ひとりの気持ちを尊重できる学級経営をしたいと改めて思いました。教師から子どもはもちろん、子ども達同士でのやり取りでも「自分らしさ」「違い」を大切にしていって関わりを持たせたいです。 ・保育園ではこのような話はまだまだ難しいかな?と思っていましたがプライベートゾーンや着替えの仕方など日々の中で気をつけなければいけないことがあると感じた。職員間でやり方を考えていきたいと思った。 ・職場でも研修会を開き、人権感覚の向上につなげていこうと思います。 				




(1) 講座・研修事業

事業名	しがパパママスクール②				
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -		
目的	これからともに歩いていこうとする共働きの夫婦等を対象とした、仕事と家庭の両立のための講座を開催する。				
対象者	これから男性育休とられる方・今とられている方、家事・育児中のパパとその家族、家事・育児について学びたい男性				
日時	日時 令和4年10月16日(日)				
内容	テーマ 「速い!おいしい!楽しい!!みんな喜ぶ!パパの料理入門“おとう飯”」				
	講師 長瀬 裕子 さん (管理栄養士)				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー 「和風ポトフ」「卵の花サラダ」「豆腐ケーキ」 ・だしなどの料理の「基本」をしっかりと学べることや、食べやすさ、健康面を考慮してメニューを考えていただき、基本を知っておくと応用が効き、レパートリーが増えると教えていただいた。 ・時短やゴミを減らす工夫などのSDGsにつながる話をうまく織り交ぜながら講座を進めていただいた。 ・ポリ袋で肉団子を作る、おからをフライパンで炒る、豆腐でケーキを作るといった経験は、参加者にとって特に新鮮なようであった。 ・テーマのとおり、「速い!おいしい!楽しい!!みんな喜ぶ!」パパの料理入門講座となった。 				
	場 所 滋賀県立男女共同参画センター 調理実習室				
参加者数	女性	4人	男性	5人	その他 0人 計 9人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。 ・よい経験ができた。 ・普段そんなに量は食べないけど、今日はいっぱい食べられた。 ・今日は残さずに全部食べられた。おなかいっぱいになった。 				



(1) 講座・研修事業

事業名	しがパパママスクール③			
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -	
目的	これからともに歩んでいこうとする共働きの夫婦等を対象とした、仕事と家庭の両立のための講座を開催する。			
対象者	これから男性育休とられる方・今とられている方、家事・育児中のパパとその家族、家事・育児について学びたい男性			
日時	日時 令和4年11月6日(日)			
内容	テーマ 「パティシエから学ぶ!パパと子どもの手作りスイーツ教室」			
	講師 川原崎 義裕 さん (パティスリー・ル・クレーヴ オーナーパティシエ)			
場 所	滋賀県立男女共同参画センター 調理実習室、交流室			
	参加者数	女性 16人	男性 18人	その他 0人
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・「パパと料理を作る」ということが大事なのだと思います。 ・混ぜたりデコレーションしたり、息子もいろいろできるんだなと思った。 ・息子の興味の幅を広げるため、これからも発見とトライをさせたい。 ・今後も子どもとともに、様々なイベントに参加していきたいです。 <p><u>*家庭での男女共同参画を進めていくためには?</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男らしく女らしくではなく、子どもに何でもさせたらいいと思う。 ・土日の積極的な家事、育児参加。 ・社会制度の充実。 ・経済と休日のバランス。 ・親の負担を減らし、チャレンジできる環境、風土をつくること。・やってみよう精神。 			

